

いのちを守る都市づくり コミュニティ防災フォーラム 2023

参加費無料

要申し込み

2023年2月18日(土)

14:00-17:00

場所 大阪公立大学 杉本キャンパス
学術情報総合センター10階 大会議室

対象 大学生、防災・行政・教育・福祉関係者、
地域防災に関心のある方

定員 130名 ※要申し込み・先着順 **2/12(日)締め切り**

お申し込みフォーム：<https://forms.office.com/r/i8eRPV55Sx>

当日、オンライン配信(視聴のみ)を予定しています、

視聴をご希望の方も申し込みをお願いします。

主催 大阪公立大学 都市科学・防災研究センター

共催 京都大学防災研究所 自然災害研究協議会 近畿地区部会

後援 大阪府/大阪市/堺市/京都市

主旨

コミュニティ防災とはコミュニティを主体としたボトムアップアプローチの防災です。災害などに最前線で立ち向かうのはコミュニティであり、そのメンバーのモチベーションやソーシャル・キャピタルの充実によって被害と復旧に差が出ます。コミュニティには地域コミュニティ以外にも多様なテーマ型コミュニティや企業コミュニティも含まれます。

大阪公立大学 都市科学・防災研究センター(UReC)は、コミュニティの脅威となるリスク評価、リスク・マネジメント、危機管理、防災計画などを体系化し、他の公立大学、行政機関、企業、地域住民と協働した研究や教育実践によるアプローチで、最新の災害研究、情報技術、都市科学を踏まえた新しいコミュニティ防災システムの確立を目指しています。



特別ゲスト

藤田 裕之(ふじた ひろゆき)

レジリエント・シティ京都市統括監
(元京都市副市長)

略歴

1955年7月 兵庫県出身。

京都大学教育学部卒業後、京都市に採用され、教育委員会生涯学習部長、右京区長等を経て、2013年4月～2017年3月 京都市副市長として市政推進に尽力。

副市長退任後も、2017年4月からレジリエント・シティ京都市統括監(チーフ・レジリエンス・オフィサー=CRO)として、京都市のレジリエンス構築及びSDGsの推進に助言。

2019年7月、京都市国際交流会館館長にも就任。ウクライナへのロシア侵攻にあたり、ウクライナから京都市に避難された方の受け入れにも従事している。

2021年11月、「レジリエンス京都!～今こそ文化を基軸に超SDGs社会の未来を考える～」を京都新聞出版センターから発刊。

お申し込みはこちら



プログラム

司会:増田 裕子・UReC コーディネータ

●14:00-14:05

開会あいさつ 三田村 宗樹(UReC 副所長)

●14:05-14:10

副学長あいさつ 櫻木 弘之(大阪公立大学 理事・副学長)

●14:10-15:30

基調講演

「京都発!レジリエント・シティへの挑戦と課題」

レジリエント・シティ京都市統括監(元京都市副市長) 藤田 裕之 氏

●15:30-15:40

休憩

●15:40-16:40

パネルディスカッション

「多様な都市課題に対応したレジリエント・シティとは」

モデレータ:生田 英輔(UReC 教授)

パネリスト:三田村 宗樹(UReC 副所長)、野村 恭代(UReC 教授)

全 泓奎(UReC 教授)

コメンテータ:藤田 裕之 氏

●16:40-16:55

UReC 都市防災部門 活動報告 三田村 宗樹(UReC 副所長)

●16:55-17:00

閉会あいさつ 重松 孝昌(UReC 所長)

お問い合わせ先

大阪公立大学 都市科学・防災研究センター事務局

※ホームページのお問い合わせフォームからお願いします。

<https://www.omu.ac.jp/orp/urec/>

大阪公立大学 UReC

検索

UReC
ホームページ
はこちら▶

